

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:10 (59%) ②:6 (35%) ③:1 (6%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:11 (65%) ②:6 (35%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:9 (53%) ②:7 (41%) ③:1 (6%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:8 (47%) ②:9 (53%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:8 (47%) ②:9 (53%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:10 (59%) ②:7 (41%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:5 (29%) ②:5 (29%) ③:7 (41%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:2 (12%) ②:11 (65%) ③:3 (18%) ④:1 (6%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:8 (47%) ②:8 (47%) ③:1 (6%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:10 (59%) ②:6 (35%) ③:1 (6%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

**B（問 14～18）：FD 活動についてお尋ねします。**

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 2（12%）
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 9（53%）
- ③他大学の FD 活動の視察： 0（0%）
- ④その他： 2（12%）  
・・・「同じ教室の FD 懇談会に出席した。」「すみません。全然やってません。」、  
未回答： 2（12%）

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 4（24%）
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 11（65%）
- ③他大学の FD 活動の視察： 0（0%）
- ④その他： 2（12%）・・・「専門分野の理解を進める」、「同じ教室の FD 懇談会に出席すること」  
未回答： 4（24%）

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：9 クラス（順不同）

- [1] ほとんど毎回授業に関連するビデオを見せたが、視聴覚室でもブルーレイディスクが使えないのが不便だった。
- [2] 昨年度は古代とルネサンスに時間をとりすぎたので、今年度はもう少しバランスよく授業を進めた。
- [3] 社会学は基本的に抽象的な学問なので、具体的な事例を必ず入れて説明するようにした。
- [4] 授業のスライドと演習の内容を適切な物とするよう改善した。
- [5] 地形図判読のレポート課題を出し、学生の自習を促した。
- [6] 学生主体で授業を進行することを継続した。
- [7] 当大学に赴任して最初の基礎教育担当なので、昨年度の授業評価を参考にすることは出来ないが、学生の理解度向上のため、毎回レジメを配布するとともに、課題とキーワードを説明し、授業を行った。  
また、授業はプレゼンテーションソフトを活用し行い、図表や写真等を適宜示しながら授業を進めた。授業の冒頭では、国際経済に関する最新情勢を伝えることで、世界への関心を高める取組みを行っている。  
授業毎に出席を取り、出席カードに質問事項の記入を求め、質問に関しては、出来る限り答えるようにした。
- [8] これまで、期末試験は「論述式・持ち込み可能」としてきた。持ち込みについては A4 の紙 1 枚として、そこには何でも書き込んでよいとしていた。これは、持ち込むための自作資料を作ることによる学習効果を狙ったものであった。  
しかしこれまでの経験では、単にレジメの内容をそのまま紙に書き写し、それを試験時間中に答案用紙に書き写すという形が多くみられ、論述問題ではかりたかった「知識の定着」や「応用力」が十分にはかれないばかりか、そもそもの学習効果にも疑問がもたれた。同時に、「基礎的な知識の習得」という観点からは、論述式のみでは十分な評価が行えていない事もうかがわれた。同時に、難易度としても易しすぎたことも感じられた。  
そのことから、今学期からは試験形式を大きく変更し、持ち込みを不可とした上で知識問と論述問題を併用する形を採用した。このことによって難易度は上がるものの、知識問によって基礎知識の習得の状況をはかり、その上で論述問題（高配点）

によって知識の定着や応用力をはかる、という目的を達する事ができたと考えている（なお、試験方式の変更については13回・14回・15回めの講義の際に学生に周知している）。この変更については効果が感じられた事から、今後も継続していく所存である。

[9] FD 活動について非常勤の教員の関わり方を教えてください。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 14 クラス（順不同）

[1] 学生主体で進めることは、良さであると同時に、期待通りには進んでいかない危険性を含むものとなる。

[2] 150 の上限を設けなくて、という方針だったので希望者が多かったのですが、農学部・工学部で2年でも取れない人がいる構造も含めて(カリキュラムの組み方、担当者の数など)学生本位に考え直さないといけないと思います。

準備もしましたし、教育の設備も最高だったと思いますが、最後は受ける側の問題だと思います。反応が強くなかったと思います。

[3] 準備もしましたし、部屋も最高でしたが最終的には受ける側問題でしょう。反応がもう一つやったと思います。

2年生だけでひとつの科目に集中するのは、カリキュラムの構造の問題(担当者不足・担当者の努力不足・カリキュラムの設定の仕方など)ではないでしょうか。学生本位に再考すべきだと思います。

[4] 受講者が大人数の講義形式の授業であるため、少人数でのアクティブラーニングが困難である。

[5] 履修者が85名ということで、クラスのサイズが大きすぎた。しかし映画を観る時間と、講義の時間を調整することで、学生の集中力が途切れないように工夫したことは良かった。

[6] もう少し双方向的な授業をするべきだった。

[7] もう少しインタラクティブにやるべきだと思う。

[8] Political Apathy が広がっている状況下、どうしても時事解説的授業になってしまいます。

[9] もう少し双方向的な授業スタイルをとるべきであった。

[10] ギリシア債務危機に関してもビデオを見せて扱いたかったがDVDに落としてもなぜか視聴覚室のDVDレコーダーでは再生できず残念だった。

[11] 映画を鑑賞させる試みでしたが、うまくいったと思います。時間があれば、鑑賞後にアクティブラーニングの導入をしたいと思います。

[12] 数学Ⅲを学んでいない人、学んだ人、いずれも考慮した授業を行うことに配慮した。

[13] 評価点は、世界経済情勢について出来る限り伝える努力を行ってこと、理解度に合わせて前回の復習等を実施したこと、学生との距離を縮める取組みを行ったことである。

反省すべき点は、受講生が200名弱に達したことで、十分に授業の意義を伝えることが出来なかった可能性があることである。プレゼンソフト等を使って、理解度を高める取組みを行ってはいるが、限界はあると考える。また、本年度は世界経済情勢が大きく変動したため、そちらの説明に力点を置いたため、カリキュラムに遅れが生じている。

今後も、魅力ある授業の実施に取り組んでいきたい。

[14] これまでは毎回出席をチェックし平常点として加味してきたが、今学期は出席を加味しない形へと変更した。シラバスに書かれた評価方法の変更になるため、学期の冒頭で学生には周知を徹底した。そこでは出席が評価に含まれない事とともに、出席していないと解けない試験形式にする旨もアナウンスし、出席なしに試験を通る事が極めて困難であることを伝達した。しかしながら、出席率は毎回低く、提出されるコメントシート（追加点として加算される）の枚数は履修人数の半数前後であった（もっとも、出席していても提出しない学生もいる）。

## 教員 FD 活動レポート（基礎教育）H27 後期 まとめ 学士力発展科目

この状況は試験の結果にも大きく反映されている。不合格となった学生が極めて多いが、その学生のほとんどがコメントシートを提出していない（ないし提出回数が極めて少ない）、もしくは提出していても無記入が多い、といった者であった。また、未受験者数の多さも指摘される。一方、コメントシートから授業への一定の参加が推測される者については、その大半が単位を取得している。教育文化学部での憲法の科目（1年生向け・ほとんどが初学者・日本国憲法と同じ試験形式・難易度はより高め・出席率は極めて高い）と比較しても、しっかりと出席していた学生については単位の取得について大きな差はなかった。従来は易しすぎた嫌いがあった事から単位の実効化へと舵を切ったが、そこで学生の側に混乱が生じた事も一因として考えられる。今後についてであるが、来年度からは教科書を使用し、予習を前提とする形へと変更していきたい。また、今年度の教訓を踏まえ、出席要件の厳格化を徹底する所存である。

4

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

### C（問 19～21）：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 7 (41%)      ②いいえ： 8 (47%)      未回答： 2 (12%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

①聞いて理解する： 3 (18%)  
②読んで理解する： 5 (29%)  
③自分の考えをまとめて話す： 1 (6%)  
④自分の考えを文章にまとめる： 1 (6%)  
⑤討論する： 0 (0%)  
⑥皆の前でプレゼンテーションする： 0 (0%)  
⑦その他： 2 (12%)・・・「世界経済情勢を知ること」、「書いて理解する」  
未回答： 10 (59%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 6 クラス（順不同）

[1] 「コミュニケーション能力の育成」についてご教示ください。

[2] 受講生が 200 人前後のため、対話型授業の実施は困難であったが、出席カードには自由に質問やコメントを記入するように説明した。その結果、忌憚のない意見や質問が多く寄せられ、教員と学生との距離が縮まったと考えられる。

[3] 英語の資料を読ませた。

[4] フランス文学作品を読んでレポートを書くという課題を課することで、日ごろ触れない文学作品に触れる機会が作れた。

[5] 講義の初回に計 42 ページのプリントを渡し、これを読んで理解の助けになるようにした。

[6] 受講生相互のディスカッションの時間を多く取ったり、司会・進行を学生に交代で担当させたりした。

D (問 22～25) : 中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 2 (12%)      ②いいえ： 12 (71%)      未回答： 3 (18%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①1～5回： 2 (12%)      ②6～10回： 0 (0%)      ③11～15回： 0 (0%)  
未回答： 15 (88%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 0 (0%)      ②政治・経済・産業： 0 (0%)      ③自然環境・フィールド体験： 1 (6%)  
④その他： 0 (0%)      未回答： 16 (94%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 2 クラス（順不同）

[1] ボランティア活動を行う際に、活動の場として、地域の NPO 法人と連携した。

[2] 来年度は「共同体」の説明の部分で「宮崎」的な活動の紹介を入れてみたい。